

春は戸を松も小ほさるもこしに鯉比良 弘橋
 2何かこをてつゆ。霞のふに松 物名や志よ
 乃たしぬ竹第 にはきよき宿や柳
 加はてしもの体 勢自多るおや子共
 位居も、こし鯉の者たとかさおあ
 角尖寸柳 お夜来 杉山や 薪木
 くらめよ初さくく 車轆 くらる乃
 録をつゆ。赤 赤 赤 赤 赤 赤 赤
 めくつはゆつと 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟
 ねえんて志 志 志 志 志 志 志
 うちを 春 田 橋 移さくはひやく
 山の隣 まで 行 雨 田 の 中 巾
 らきくくくくくくくくくくくくくく
 金河 多 多 多 多 多 多 多 多 多 多
 力のかかりり甲ら 季 季 季 季 季 季
 くくくくくくくくくくくくくくくく
 筆 寄 函